

名詞・冠詞・形容詞の発展 - 4

04

『不定冠詞』・・・“a”と“an”を「不定冠詞」といい、不特定の名詞の前に置かれる。
 一般的には「一つの」「1個の」「1本の」というように訳してはいるが、
 基本的には『一定の形のあるモノで、しかも単数形』という意味を表し、
 強いて訳すなら「～という(形のある)モノ」となる。

a book	(一定の形のある)『本』というもの	
a dog	(一定の形のある)『犬』というもの	
dog	一定の形のない『イヌ』というもの	『犬の肉』

「不定冠詞」と発音・・・後にくる単語の最初の発音が『母音』のとき、“a”は“an”になる。

an apple , an orange , an animal , an aunt

たとえその基本単語が「母音」で始まっていても、形容詞などが間に入り込むと
 その形容詞の最初の発音に伴って「a」と「an」は替わることがある。

an apple a big apple , a book an old book

英語には「半母音」という発音があり、このときは「an」にはならない。

a year , a yacht , a walnut , a wall

「不定冠詞」の用法

「～というもの」(種類全般) 「とある～」(不特定) 「～につき」(割合)

これらの例文は、裏面の2番の問題で扱う。

1, 次の()に「a」または「an」を書き入れなさい。

() ant
(アリ)

() wolf
(オオカミ)

() owl
(フクロウ)

() egg
(玉子)

() uncle
(伯父)

() woman
(女性)

() idol
(偶像)

() house
(家)

() hour
(一時間)

() artist
(芸術家)

() wildcat
(山猫)

() university
(大学)

() UFO
(未確認飛行物体)

() MVP
(最優秀選手)

() NPO
(非営利団体)

() red apple
(紅い林檎)

() used car
(中古車)

() old man
(お年寄り)

() yellow leaf
(黄色い葉)

() interesting book
(面白そうな本)

21 () young man
(若者)